



各位

上場会社名 株式会社 小島鐵工所
 代表者 代表取締役社長 榎瀨 洋二
 (コード番号 6112)
 問合せ先責任者 取締役経理・総務部部长 田中 教司
 (TEL 027-343-1511)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成31年1月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年11月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成30年12月1日～平成31年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	900	20	30	20	20.00
今回修正予想(B)	1,150	50	60	40	40.03
増減額(B-A)	250	30	30	20	
増減率(%)	27.8	150.0	100.0	100.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年11月期第2四半期)	796	△87	△75	△76	△76.39

修正の理由

当社の主製品である大型油圧プレス機は、形状、能力、機能のほか、納期、一台当たりの金額もそれぞれ異なる個別受注生産でありますので、月単位での売上は一定しておらず、季節的変動によるものでもなく、納期的、金額的なバラツキにより売上の変動が大きく、また、当社製品が大型機械ゆえ、設計・生産着手から納品・据付まで平均して1年程度を要するため、受注から売上計上まで相当期間のズレが生じてしまうのが当社事業の特性であります。なお、一部請負工事物件につきましては工事進行基準を適用して売上処理を行っております。

このような事業の特性を持つ当社におきまして、当119期第2四半期累計期間における売上高は、大型受注物件の消化が進み、前回予想数値(9億円)を上回る11億50百万円の計上となる見込みであります。

利益面につきましては、引き続き生産効率を軸とした原価への取組み強化及び売上増加により、当第2四半期損益状況は、営業利益・経常利益・当期純利益共に表記の通り予想数値を上回る見込みであります。

受注状況につきましては、当第1四半期間受注高は、超大型物件(10億円台)が受注できた前年同四半期に比べ、発注サイドにおける見送り傾向がみられ大口物件に恵まれなかったことから1億71百万円(前年同期11億10百万円)と弱含みとなっております。

受注残高につきましては、前年第2四半期に受注した大型機械工事20億円の確保により35億57百万円(前年同期末17億77百万円)と前年を大きく上回ることができ、今後の営業展開に大きな弾みとなっております。現在、大型物件の引き合いが見込まれており、この物件の成約に向け全力で取組み、一層の受注増加を目指しているところでございます。

* 上記予想は、現時点に於いて、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果になる可能性があります。

以上